

新・手話辞典

豊かな手話コミュニケーションのために

これからの手話はマスコミでの使用、聾学校での導入、聴覚障害者の新しい分野への進出などにより、数多くの単語を手話化することが必要になってくる。時代の要求に応え、豊かな手話コミュニケーションを発展させるために、新しい発想で手話化され、最も多い語数を収載した本格的な手話辞典

定価——4300円(本体4175円) 中央法規

はじめに

本書を編集し、発行しようとするのは次のような趣旨からである。

【単語数の多い手話辞典】

最近の聴覚障害者の言語力は向上し、理解・使用する単語は多くなっている。当然、手話の形で使いたい単語も多くなっている。社会生活上、手話化が必要な単語も多くなっている。それに対し、今までにつくられてきた手話では、単語の数が少なく、現実の必要性に十分に応じきれないでいる。この状態を克服する対策の一つとして、単語数の多い本書を発行するものである。

【新しい造語法による手話辞典】

手話の単語を増やすためには、今までの造語法では限界があり、造語法自体の見直しが必要になる。本書は、造語法の改善・開発から進め、それによって新しくつくった手話（いわゆる「創作手話」）を多く掲載している。今後、手話を発展させるための新しい造語法とそれによる新しい手話のモデルの一つとして本書を発行するものである。

なお、本書は創作手話が多いからすぐにはなじみにくい面があるはずである。使用に際し、その面でのご配慮を願っている。

【日本語対应手話の手話辞典】

本書の手話は、日本語の表現方法の一つとして、日本語を手で表したものであるという考え方に基づいている。日本語の表現には、音声や文字、点字などがあるが、本書では、手話や指文字をそれらと同列において考えている。

本書の手話が日本語対応であることで、日本語の手話表現を豊かにするだけでなく、日本語の習得にも効果を示すことを願っている。

日本語を目でとらえる方法には口話法がある。手話も口話

法も単独で用いるよりも併用した方がわかりよく、表現力も豊かになる。そして、手話が日本語対応である方が併用しやすい。本書によって手話と口話法の併用が一層円滑なることを願っている。

【国際障害者長期計画】への寄与

1981年は「国際障害者年」であり、1992年がその長期行動計画の最終年である。私たちは「国際障害者年」が実のあるものとなるように、多少なりとも寄与したいと願い、最終年以前までに本書を発行するように努力してきた。

編集方針

【手話化検討語の選択方針】

単語の領域が偏らないことを考えて、『角川・類語新辞典』（昭和56年、角川書店）収録の約6万語から、次の3点を基準にして約3万語を手話化の検討語にした。

- 使用頻度が高いこと。
- 聾学校だけでなく、難聴学級や高等教育機関を含む教育機関で広く使用できること。
- 聴覚障害者の日常生活はもちろんであるが、テレビ放送や研究会など幅広い社会生活で使用できること。

【手話化した単語数】

上記の約3万語の検討対象語から実際に手話化した単語数は下表のとおりである。

単純手話	漢字手話	指文字結合手話	複合手話	手話の合計	同形語	日本語としての合計
3943語	1621語	661語	10251語	152465語	4866語	20112語

- 単純手話：これ以上分けることのできない手話（上表の数は漢字手話を含んだ数）
- 漢字手話：単純語の中で漢字1字を示すための手話を言う。ときに、1字に二つ以上の手話をあてている。漢字は常用漢字だけである。
- 指文字結合手話：あるグループの語は、共通する手話に指文字をつけて示した。
- 複合手話：単純手話、漢字手話、指文字などを組み合わせてつくった手話。
- 同形語：同じ手の形で示すいくつかの語。

【単語の意味の範囲】

手話化では、語がもつ意味を手の形で表すということが主

となるから、まず、語の意味の範囲をはっきりさせる必要がある。そのより所として『岩波国語辞典』を用いた。

【手話化の基本原則】

手話単語を作成したときの基本原則である。

① 1単語1手話の原則

手話は、日本語を音声で表すのと同じように手の形であらわしたものと考えているから、一つの単語には一つの手話表現を原則とした。ある単語を、使われた分脈の中での意味に応じていろいろな手話を使い分けるということをしないですむように、『国語辞典』にある単語のいろいろな意味を考えて手話化した。

② 相互補完の原則

「手話」も「読話・発語・聴能」も、どちらかを単独で用いるときよりも、併用したときの方がわかりよく、意味もこまかに伝え得る。併用することで相互補完しあうわけである。本書は、併用を前提にして、手話の意味を口型などで変化させる同形語を示した。

③ 動作経済の原則

手話表現の動作量が大きいことは、見分けやすくする利点にはなるが、一方、日本語を音声で表すときに比べて、手を用いる手話の表現は労力からも時間の面からも負担が大きい。そのことを考えながら、動作量が少なくてすむように、1手話1動作を原則にした。

④ 記憶の負担軽減

本書は、いわゆるろうあ者を対象にして作成したことはもちろんであるが、それだけに限定せず、難聴者や中途失聴者、手話通訳者が成人に達してから手話を習得する場合が多いことを考えて、手話を記憶する負担を軽くするように努力した。

⑤ 既成手話の尊重

手話は、聴覚障害者の日常生活に密着した言語であるから、できるだけ既成の手話をとり入れるようにした。また、既成手話が造語原則からみて問題があるときでも、少し形を修正すれば原則と矛盾しないときは修正してとり入れるようにした。

あ

あ【亜】 ㊦

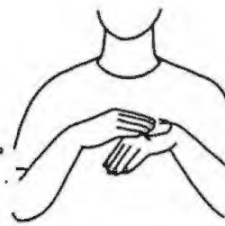
両手ので、親指を近づけて並べ、右手を少し下げる(片手を下げることで「それに次ぐ」意味を表す)。



あい【愛】 ㊦

両手 愛する
愛情
いとし
かわいい

左手のひらを下に向ける。右手で左手の甲を2,3度なでる(愛情をもって頭をなでている様子)。



アーチ

向かい合わせ指先をつけた両手をアーチ型に離しながら下におとす(アーチをかたどる)。



あいさつ【挨拶】

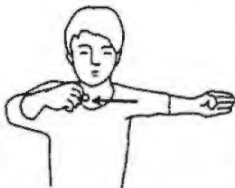
両手 お辞儀

両手人さし指を向かい合わせて立て、同時に折り曲げる(あいさつでお辞儀をする様子)。



アーチェリー






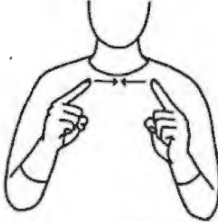

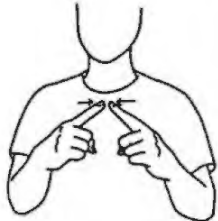
左手をまっすぐ左に伸ばし右手で弓を引くしぐさをする。



アイスクリーム

丸めた左手に右手のひらをこすりつける動作を繰り返す(アイスクリームを容器につめこんでいる様子)。



<p>あいだ【間】 ㊦</p> <p>㊦形 間(ま) 間(けん) 間(かん) ~間(けん)</p> <p>両手のひらを中央に向けて向かい合わせ、指先を前に向ける。両手を同時に少しおろす(一定の間隔を示す)。</p> 	<p>あいまい【曖昧】</p> <p>㊦形 うやむや あやふや 漠然</p> <p>前後に向かい合わせた両手をぐるぐる回す(あいまいでもややもやしている意味)。</p> 
<p>あいち【愛知】</p> <p>左手の親指を右手のひらでなでるように回す(かわいがっている様子を表し「愛」を意味し「愛知」を表した)。</p> 	<p>アイロン</p> <p>左手のひらの上でにぎった右手を左右に動かす(アイロンをかけている様子)。</p> 
<p>あいて【相手】</p> <p>㊦形 相対</p> <p>左人さし指を人にみたと立て、それを右人さし指でさす(対象となる人を表す)。</p> 	<p>あう【会う】* ㊦</p> <p>㊦形 運 運う 運遇</p> <p>両手の人さし指を立てて向かい合わせ、互いの指先を同時に動かしてつける(会う様子)。</p> 
<p>アイデア</p> <p>㊦形 着想</p> <p>人さし指をこめかみにあてて上にはねあげる(ある考えがパッと浮かんだ様子)。</p> 	<p>あう【合う】* ㊦</p> <p>㊦形 合わす 合わせる マッチする</p> <p>向かい合わせた両手人さし指を左右から近づけ、指先をつける(合う形)。</p> 

<p>アウト</p>		<p>あお【青】 ㊦</p>	<p> (画) 青(せい) 青(しょう) 青い </p>  <p> 右手の4指で、右ほおを横に後ろへ引くようになる(ひげそりあとの青い様子を示す)。 </p>
<p>アウトライン</p>		<p>あおぐ【仰ぐ】 ㊦</p>	<p> (画) 仰(ぎょう) 仰(こう) 仰せ </p>  <p> 手のひらを前に向けた右手を頭部脇でやや仰むかせて寝かせる(上方を眺めやる形)。 </p>
<p>あえて</p>		<p>あおる【煽る】</p>	 <p> 両手のひらを上に向け、両手同時にあおるように上に動かす(何かをあおる様子)。 </p>
<p>あえる【和える】</p>		<p>あか【赤】 ㊦</p>	<p> (画) 赤(せき) 赤(しゃく) 赤い 赤らむ 赤らめる 赤々 </p>  <p> 唇に沿って人さし指を横へ引く(唇の色で赤を示す)。 </p>

<p>あか【垢】</p>		<p>あからさま</p>	<p>☑️ 図 さらわ</p> 
<p>あかちゃん【赤ちゃん】</p> <p>☑️ 図 赤ん坊 赤子</p> <p>親指を立てて、握った右手の甲を、斜めに立て、左手のひらで回すようになる(赤ん坊をやさしく抱く様子)。</p>		<p>上がる* ☑️</p> <p>☑️ 図 上げる 揚 拳がる* 揚がる 拳げる 揚げる 高揚</p> <p>手のひら上、指先左に向けた右手を、胸のあたりから上に上げる(上がるの様子を示す)。</p>	
<p>あかつき【暁】 ☑️</p> <p>☑️ 図 暁(ぎょう) 明け方 未明</p> <p>左手を胸前で水平にした外側に右手親指と人さし指でCの形をつくり、下から上げてつける(日の出前の様子を示す)。</p>		<p>あかるい【明るい】 ☑️</p> <p>☑️ 図 明(めい) 明らか 明(みょう) 明ける 明り 明るく 明るむ 明かす 明らむ 明け</p> <p>手のひらを前に向けて胸の前で重ねた両手を左右に開く(目の前が開けて明るくなる様子)。</p>	
<p>アカデミー</p> <p>⑦の両手で胸の前で水平に前方から手前に円を描く(音を手がかりにして学術の団体を表す)。</p>		<p>あき【秋】 ☑️</p> <p>☑️ 図 秋(しゅう)</p> <p>葉が落ちるように右手指文字⑧をヒラヒラ反転させながら下におろしていく。</p>	

あきなう【商う】

四

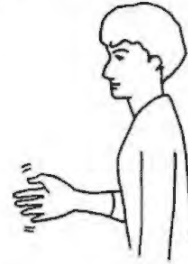
【商】

商売
商業

人さし指を親指で円をつ
くった両手を水平にそろ
え、交互に前後に動かす。
他指は開く（〔金〕の手話
に関連づけ金をやりとり
する様子を表す。



あくしゅ【握手】



開いた片手を前に出して、
上下に軽く振る。

あきらめる【諦める】

【諦】

やむをえず
あきらめ
断念

手のひら上にして左肩の
ところから斜め下に下げ
る（けさがけに身を切る
形で断念した意を表す）。



アクセル



①のを示し、続いて②は
〔ブレーキ〕の手話をする
（音を手がかりにアクセ
ルを踏む様子）。

あきる【飽きる】

四

【飽】

飽かす

右手のを胸にあて、その
手を左に倒す（物事に退
屈して寝てしまう様子
を表す）。



アクセント



人さし指と拇親で半円を
作った左人さし指に右
人さし指をうちおろす
（ある点を強調する様
子を示す）。

あきれる【呆れる】











親指と他の指を開いた片
手をあごにあて、そのま
ま下におろす。

あくび



①口の横に指をつけ合
わせた手を置き、②指を開
く（口が大きく開く様
子）。

<p>あくまで</p>		<p>アコーディオン</p>	
<p>【図形】とことん</p> <p>指先を前に手のひらを右にした左手に向かって、手のひらを自分に向けた右手を上下させながら近づける(徹底する意を強調する)。</p>	<p>あけっぴろげ【明けっ広げ】</p>	<p>アコーディオンを弾くしぐさで両手を近づけたり、離したりする。</p>	<p>【図形】とことん</p>
<p>胸の前で、両手指先を合わせ両手を前へはじくように開く(隠さずにあるまじき様子)。</p>		<p>【図形】どうけい</p> <p>半開きにした手を頭の横のあたりから段をつけて斜め上へ上げていく。</p>	
<p>あげる【掲げる】</p>	<p>【図形】掲</p>	<p>あさ【麻】</p>	<p>【図形】麻</p>
<p>【図形】掲 提示 掲掲</p> <p>左手の指先を上にし、手のひらを前に向ける。右手指先を左手のひらの下部にあて上に押し上げる(押し上げることで何かを掲げることを表す)。</p>		<p>左手のひらを右に向け指先を上に向けて立てる。右手でのを示す(左手は木へんを、右手は音を表す)。</p>	
<p>あご</p>		<p>あさ【朝】</p>	<p>【図形】朝(ちょう)</p>
<p>人さし指であごを指し示す。</p>	<p>【図形】朝(ちょう) 朝方 日の出 朝日</p> <p>手のひら下、指先を右に向けた左手の前で右手人さし指と親指でCの形をつくり、下から上へ太陽が登るように上げる。</p>		

指文字結合手話

1 花

図ばら

左手は指を開いてやや丸くして、手のひらを右に向ける。〔花〕の右手をとった形で「花」を表す。右手でもって花の名前の最初の音を指文字で示す。



左手の「花」に
右手の◎を並べる。

朝顔(朝+顔) アネモネ アマリリス あやめ カーネーション カンナ ききょう ☆菊 金せん花 グラジオラス クロッカス けいとう けし コスモス 桜草(桜+草) サルビア 三色すみれ(三十色+すみれ) シクラメン シネラリア しゃくやく ジャスミン しょうぶ 水仙 スイートピー すいれん すずらん すみれ ゼラニウム グリア たんぼぼ チューリップ 菜の花 なでしこ はぎ 浜ゆう ばら ひなげし ひまわり 百日草(百+日+草) ヒヤシンス 福寿草(福+寿+草) フリージア ばたん マーガレット まんじゆしゃげ ゆり よいまち草 りんどう れんげ

2 樹木

図ひのき(繪)

左手は指を伸ばして手のひら右にしまつすぐに立てる。「樹木」を表す。右手でもって樹木の名前の最初の音を指文字で示す。



左手の「樹木」に
右手の◎を並べる。

花で表したい場合は「1花の形」で示してもよい。

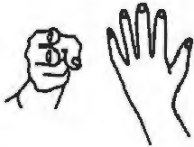
アカシア ☆麻 あじさい あしび いちよう ☆梅 うるし オリーブ かし かしわ きょう竹桃 きりくちなし くぬぎ ☆桑 けやき こぶし さかき ☆桜 さざん花 さるすべり しゃくなげ しゅう ☆杉 そでつ 泰山木 ちんちようげ つつじ つばき たちなら 雨天(雨+天) くれねむの木 ひのき ☆ふじ プラタナス ポプラ ☆松 もくせい もくれん ☆桃 もみ やし 八手(八+手) ☆柳 ユーカリ

3 草

図はこべ

左手は指を開いて手のひらを自分に向けて立てる。〔草〕の動きをとった形で、「草」を表す。

右手でもって草の名前の最初の音を指文字で示す。



左手の「草」に
右手の◎を並べる。

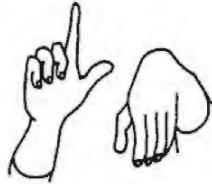
花で表したい場合は「1花の形」で示してもよい。

あざみ あし いたどり いばら えのころ草 おおばこ かたばみ からすうり クローバー げんのしょうこしだ 春らん すげ すずき ぜんまい たで 月見草(月+見る+草) つくし つた つゆくさ どくだみ なずな はこべ 母子草(母+子+草) 涙なす 昼顔(昼+顔) 仏の座 山ぶどう(山+ぶどう) よもぎ わらび

4 野菜

例 れんこん

左手は○の形にして指先を下に向ける。野菜を切るときに押さえている様子で「野菜」を表す。右手でもって野菜の名前の最初の音を指文字で示す。



左手の「野菜」に
右手の○を並べる。

アスパラガス 油菜(油+菜) うど かぶ ☆かぼちゃ
からし菜(からい+菜) カリフラワー ☆キャベツ ☆
きゅうり 小松菜(小+松+菜) さんしょう しそ 春
菊(春+菊) しょうが ☆すいか セロリ たまねぎ
とうがらし トマト とうろ ☆とうもろこし ☆なす
にんにく ☆ねぎ 白菜(白+菜) パセリ ビーマン
☆ふき ほうれん草 みつ菜 みょうが らつきょう
レタス れんこん わさび

5 果物

例 ネーブル

左手は指を丸めて、手のひらを上にする。〔果物〕の動きをとった形で「果物」を表す。右手でもって果物の名前の最初の音を指文字で示す。



左手の「果物」に
右手の④を並べる。

アーモンド あんず いちじく オレンジ ☆かき 金
かん ☆(栗) くるみ グレープフルーツ ☆さくらん
ぼ ざくろ すもも だいたい ☆なし 夏みかん
(夏+みかん) なつめ ネーブル ☆バナナ バイ
ン アップル びわ ☆ぶどう ☆みかん もも ゆず ☆
りんご レモン

6 根菜

例 大根

①初めに色を表す手話を
する。
②次に○の形で指先を下
に向け横に動かしながら
握る。根菜の形を示
し、「根菜」を表す。



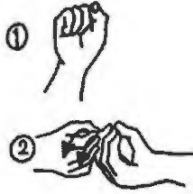
①(白)で、人さし指で歯
をさす。
②「根菜」を示す。

ごぼう (○は(黒)を示す)
大根
人参 (○は(赤)を示す)

7 芋

④ さつま芋

①初めに芋の名前の最初の音を指文字で示す。
②次に〔芋〕を表す。左手は④の形で手のひら上に向ける。右手は指先をつぼめ、芋の皮をむくように動かす。



①④を示す。
②〔芋〕を示す。

さつま芋 里芋(里+芋) ジャガイモ ポテト 山芋(山+芋)

8 豆

④ 大豆(大+豆)

左手は手のひらを丸め上向きにする。手のひらに豆をのせている様子を示し、「豆」を表す。
右手でもって豆の名前の最初の音を指文字で示す。



左手の「豆」に
右手の④を並べる。

あずき いんげん豆 うずら豆 枝豆(枝+豆) えんどう グリンピース ごま ささげ そら豆 大豆(大+豆) 南大豆 ☆ピーナツ ☆落花生

9 きのこと

④ しいたけ

左手は丸みをつけて手のひら下にしておく。
右手でもってきのこの名前の最初の音を指文字で示し、続いて人さし指を左手のひらにつけて〔きのこ〕を表す。



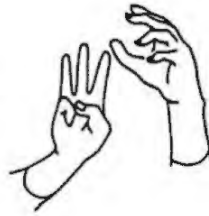
右手で④を示し
続いて〔きのこ〕を示す。

しいたけ しめじ なめこ マッシュルーム まつたけ

10 海藻

例わかめ

左手は指を開いてやや曲げて手のひらを右に向けろ。(海藻)の動きをとった形で「海藻」を表す。右手でもって海藻の名前の最初の音を指文字で示す。



左手の「海藻」に
右手の㊦を並べる。

あおさ あらめ おごり かじめ クロレラ こんぶ
つのみ たてんぐさ のり ひじき ぶのり まくり
まりも もずく わかめ

11 獣

例トナカイ

左手は指を開いてやや曲げ、手のひらを下に向けろ。(獣)の動きをとった形で「獣」を表す。右手でもって獣の名前の最初の音を指文字で示す。



左手の「獣」に
右手の㊦を並べる。

あざらし アシカ いたち 犬 ☆いのしし ☆うさぎ
☆牛 ☆馬 おおかみ おつとせい オランウータン
☆カバ かもしか かものはし かろうそ カンガルー
☆きつね ☆キリン ☆鯨 ☆くま こうもり ☆ゴリ
ラ ☆さい ☆狼 ☆しか ☆しま鳥 白題(白+題)
水牛(水+牛) スカンク ☆象 ☆たぬき テータ チ
ンパンジー テン とど トナカイ とら ☆猫 ☆ね
ずみ ハイエナ ばく ビーバー ☆羊 ヒヒ ビュー
マ ☆豚 マンモス ミンク むささび むじな もぐ
ら モルモット ☆やぎ ☆ライオン リス

12 鳥

例ひばり

左手は指を伸ばし手のひらを下に向け、指先が斜め下を向くようにする。鳥の羽を示し、「鳥」を表す。右手でもって鳥の名前の最初の音を指文字で示す。



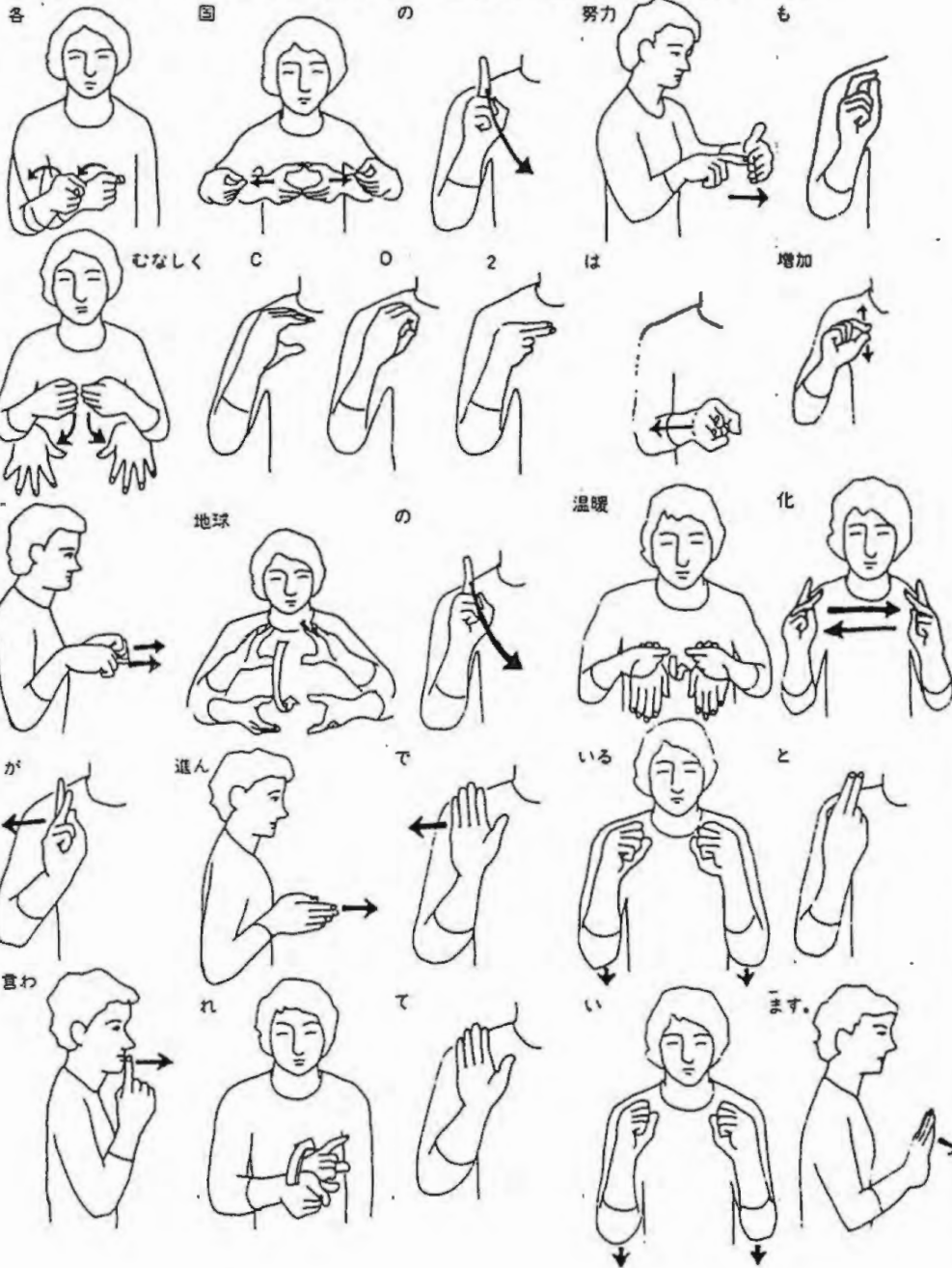
左手で「鳥」を示し
右手の㊦を並べる。

☆あひる インコ う うぐいす オウム おしどり
かけす かさぎ がちょう かつこう カナリア か
も かもめ からす(下図) かり がん かんこ鳥 き
じ きつつき 九官鳥 くじゃく こうのとり こまど
り さぎ しぎ しじゅうから(下図) 七面鳥(七十
面+鳥) しゃも じゅうしまつ(下図) すずめ せき
れい たか だちよう 千鳥(千+鳥) チャボ つぐみ
☆つばめ つる(下図) とび 尾長鳥(尾+長+鳥)
☆鶺鴒 白鳥(白+鳥)(下図) はと(下図) はやぶさ ひ
たき ひばり ひよどり ひわ ふくろう 文鳥(文+
鳥) ペリカン ペンギン ほお白 ほととぎす みそ
さざい みみずく むくどり むくどり白 もず やまがら
よしきり らい鳥 わし(下図)

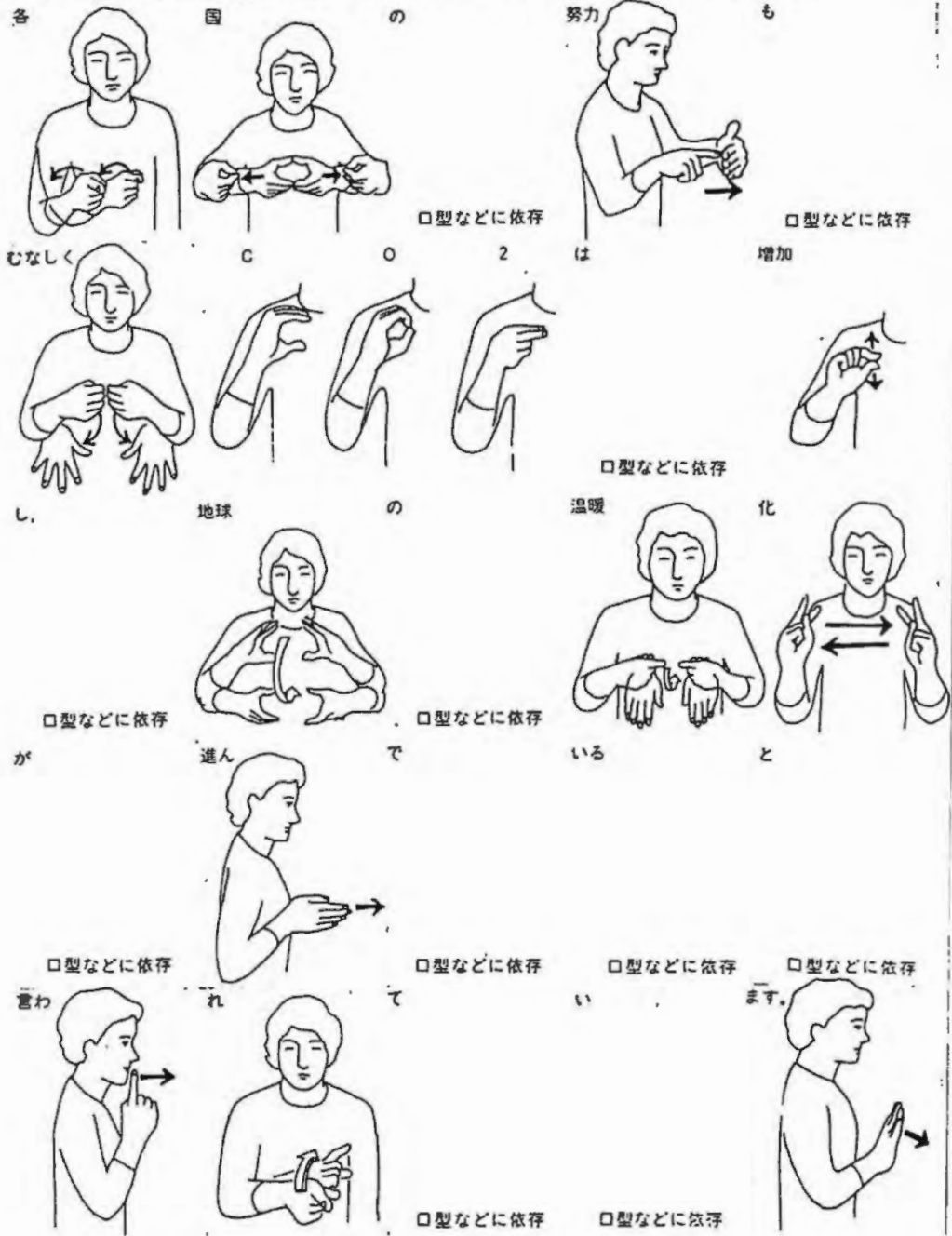
文章表現の例

A 文を全部手話で表現した場合

「各国の努力も空しく CO₂ は増加し、地球の温暖化が進んでいると言われています。」



B 前ページの同じ文を、助詞などの手話を省略しても、口型や音声(聴能)に依存して、十分に伝達できる場合の手話表現例。手話の省略部分は、文脈、話題、相手などに応じて変える。



あ

亜 1
 ああ (ア-)
 アーケード (ア- ケ- D)
 アース (ア-) (2)
 アーチ 1 (ア-) (2)
 アーチェリー 1 (ア-) + (チエリ-)
 アーモンド 336
 哀 哀れむ 18
 愛 1
 相 相(そう)260
 愛煙 愛1+煙151
 愛煙家 愛1+煙151+家21
 合い鍵 合う2+鍵81
 相変わらず 常309
 合気道 合う2+気110+道467
 愛きょう えくぼ49
 愛犬 愛1+犬29
 あいこ 五分五分170
 愛好 愛1+好315
 愛好者 愛1+好315+者405
 愛国 愛1+国137
 合言葉 合う2+言葉91
 愛妻 愛1+妻311
 あいさつ 1
 アイシャドー 349
 哀愁 哀18+愁46
 愛書 愛1+書83
 愛称 愛1+称220
 相性 相260+性250
 愛情 愛1
 愛人 愛1+人405
 アイス (ア) (1) (2)
 アイスクリーム 1
 アイスボックス (ア) (1) (2) + 箱378
 愛する 愛1
 愛想 愛1+想262
 間 2

相対する 相260+対する272
 間柄 間2+柄99
 愛知 2
 愛着 愛1+着296
 あいつ あ+そいつ260
 相次いで 相260+次305+で
 相次ぐ 相260+次ぐ305
 あいづち うなづく42
 あいつら (ア) そいつ260+ら
 相手 2
 アイディア 2
 哀悼 哀18+悼188
 愛読 愛1+読507
 あいにく 惜しい62
 相乗り 相260+乗る370
 相部屋 相260+部屋436
 相棒 相手2
 合間 合う2+間2
 あいまい 2
 愛用 愛1+用487
 愛らしい かわいい1
 アイロン 2
 会う 2
 合う 2
 遣う 会う2
 アウト 3
 アウトライン 3
 あえて 3
 あえ物 あえる3+物489
 あえる 3
 亜鉛 543
 育 3, 543
 育い 育3
 仰ぐ 3
 育臭い 育3+臭い13+い
 あおき 338
 育写真 育3+写真99
 育白い 育3+白い227
 育筋 育3+筋127
 育空 育3+空269
 育葉 育3+葉372

青光り 青 3+光る 399
 青み 青 3 ㊸
 仰向き 仰ぐ 3+向く 473
 青虫 青 3+虫 474
 青紫 青 3+紫 477
 青物 青 3+物 489
 青森 青 3+森 491
 あお(煽)り立てる あお(煽)る 3+立てる 282
 あお(煽)る 3
 あお(呟)る 飲む 370
 あか(垢) 4
 赤 3, 543
 赤々 赤 3
 赤い 赤 3
 赤子 赤ちゃん 4
 あかし(証) 証拠 222
 赤字 赤 3+字 195
 アカシア 535
 赤信号 赤 3+信号 229
 飽かす 飽きる 5
 明かす 明るい 4
 赤ちゃん 4
 曉 4
 赤土 赤 3+土 307
 アカデミー 4
 赤恥 赤 3+恥 381
 赤旗 赤 3+旗 381
 赤帽 赤 3+帽 442
 赤み 赤 3 ㊸
 赤身 赤 3+身 100
 赤みそ 赤 3+みそ 467
 あからさま 4
 赤らむ 赤 3
 明らむ 明るい 4
 赤らめる 赤 3
 明り 明るい 4
 上がり口 上がる 4+口 135
 上り下り 上がる 4+下る 202
 明り取り 明り 取る 343
 上がり湯 上がる 4+湯 499
 拳がる 上がる 4

上がる 4
 揚がる 上がる 4
 明るい 4
 明るみ 明るい 4+～み
 明るむ 明るい 4
 巫寒帯 巫 1+寒 188+帯 68
 赤ん坊 赤ちゃん 4
 秋 5
 空き 空 269
 飽き飽き 飽きる 5+飽きる 5
 秋風 秋 5+風 88
 空き缶 空く+缶 103
 秋口 秋 5+口 135
 秋雨 秋 5+雨 15
 秋空 秋 5+空 269
 秋田 よき 418
 飽き足りない 飽きる 5+足りない
 空き地 空く 269+地 292
 飽きっぱい 飽く+～っぱい 310
 商う 5
 空き箱 空く 269+箱 378
 秋晴れ 秋 5+晴れる 392
 空き瓶 空く 269+瓶 411
 秋めく 秋 5+～めく 480
 空家 空く 269+家 21
 明らか 明るい 4
 あきらめ あきらめる 5
 あきらめる 5
 飽きる 5
 あきれ返る あきれる 5+返る 79
 アキレス腱 けん(腱) 152
 あきれ果てる あきれる 5+果てる 382
 あきれる 5
 あく(灰汁) ㊸㊹
 悪 悪い 531
 握 握る 356
 開く 開(ひら)く 409
 空く 空 269
 アクアラング ㊸㊹㊺
 悪意 悪 531+意 20
 悪運 悪 531+運 46

『新・手話辞典』
全日聾研発表資料
手話コミュニケーション研究会
1991年11月31日

本研究に関するご意見・お問い合わせは下記までお願いします。

【本辞典の特色】

単語数が最も多い	これからの学校教育や社会生活の必要性に応じられるように20000語を手話化
新しい造語法	手話の単語数を増やすためには新しい手話化の方法が必要。本辞典はその良いモデルとなる
日本語対応の手話	日本語を正しく、豊かに表現することが可能な手話の在り方を示す

ISBN4-8058-0873-X C3537 P4300E